|  |
| --- |
| **●教育基本法との関連** |
| **検討の観点** | **特　色** | **参　照** |
| **教育基本法第2条**に規定された教育目標を達成する内容になっているか。 | 下記の例をはじめ、教科書全体を通して、教育基本法第2条第1号～第5号の趣旨を十分に反映しています。①全学習項目で**問題解決的な学習が繰り返し行える構成**（ステップ１　見つめよう→ステップ２　計画しよう・実践しよう→ステップ３　生活に生かそう・新しい課題を見つけよう）にしています。（第１号）②人との関わりを示す場面では、明るく暖かいイラストや写真を豊富に掲載し、豊かで健全な心が養われるようにしています。（第１号）③学習をふり返って**自分の成長を実感できる「成長の記録」**を収載しています。（第２号）④長期休暇の前に、**生活の課題を見つけ、解決に取り組む「生活を変えるチャンス！」**を設けています。（第２号）⑤達成感を感じられるように、取り組みやすい実習題材を多数採用しています。（第２号）⑥働いている人を特集した「プロに聞く！」を収載しています。（第２号）⑦学習活動として、作品を友達同士で評価したり、話し合いながら課題を解決したりする場面を設けています。（第３号）⑧地域の人々との関わりを大切にし、自らが地域との一員であることに気付き、感謝することの大切さが分かるようにしています。（第３号）⑨地域の一員として、自分にできることを考えられる資料を紹介しています。（第３号）⑩環境マークを掲載し、**環境に配慮した生活について考える**場面を設けています。（第４号）⑪**「持続可能な社会の構築」**を消費者教育と合わせて一つの大題材で大きく取り上げています。（第４号）⑫「日本の伝統」マークを掲載し、日本茶、ご飯、みそ汁、伝統食品、郷土料理、てぬぐいなどを特集しています。（第５号）⑬東日本大震災に関連して、福島県の児童が地域貢献に取り組んだ事例を掲載しています。（第５号） | ①p.4-5ほか教科書全体②教科書全体③p.6-7④p.65-67、121、134⑤p.22、32、46、48、74、76、88、 90、106、108、118、119ほか⑥p.27、42、52、61、101、111、 120、127、132、147⑦p.13、20、28、34、37、52、 55、93、100、123、127ほか⑧p.128-133⑨p.133、134⑩p.21、32、58、74、98ほか⑪p.36-43⑫p.18、46、48、52、53、61、 69、149ほか⑬p.131 |
| ●教育課程および学習指導要領への対応 |
| **検討の観点** | **特　色** | **参　照** |
| **１ 目標と内容の取扱い** | 家庭科の教科目標に準拠した基礎的・基本的事項が適切に取り上げられているか。 | ①学習指導要領の「家庭科の目標および内容」、「指導計画の作成と内容の取扱い」にしたがい、基礎的・基本的事項にもれなく適切に取り上げています。②サブタイトル「私がつくる　みんなでつくる　明日をつくる」で家庭科の目標を示しています。 | ①教科書全体 |
| 見方・考え方を働かせた深い学びの実現に対する工夫がなされているか。 | ①各大題材の最初に**「家庭科の窓」を設置し、見方・考え方の視点を意識**して、学習が進められるようにし、その視点を働かせて、各所に収載している活動を行うことで、**深い学びを実現**できるようにしています。 | ①教科書全体 |
| 実践的・体験的な活動の遂行が可能な配慮や工夫がなされているか。 | ①実践的・体験的な活動を促すように、座学が多くなりがちなところにも活動を設定し、その内容を具体的に示しています。また、そのさまざまな活動を通して児童の**思考力・判断力・表現力が育成される**よう配慮しています。 | ①教科書全体 |
| **２ 指導計画と指導への配慮** | 基礎的・基本的な知識および技能を身に付けられることができるよう配慮されているか。 | ①知識・技能の定着のため、学習の目標と評価を重視し、すべての小題材の始めに学習の「めあて」、終わりにそれに呼応した「ふり返ろう」を設けて**こまめに学習をふり返り、学習内容が定着する**ようにしています。②家庭科の基礎・基本となる本文中の用語は、太字で目立つようにしています。③各実習には、「できたかな」の囲みを入れています。実習にあたってのポイントが自己評価としても活用でき、より確実な技能の定着を図ることができます。④基礎的・基本的な技能をおさえるために、最低限身に付けてほしい技能を「いつも確かめよう」の囲みで示しています。巻頭では、衛生・安全に関する「いつも確かめよう」を示し、学習に生かせるようにしています。⑤基礎技能として取り上げている「いつも確かめよう」は、単なる技能習得に終わらないように、実習とセットで取り上げ、**実際の生活場面で生かせる**ように配慮しています。該当箇所だけでなく、開きやすい巻末にもまとめて示しています。⑥指定題材「青菜」「いも」「ふくろ」については、**大判化した紙面を生かした分かりやすい手順**で示しています。 | ①②教科書全体③p.23、32、47、49、75、89、 107、118ほか④p.8-11⑤p.16、33、75、136-145ほか⑥p.22、106、108ほか |
| 知識および技能を生活体験等と関連付けてより深く理解できるよう配慮されているか。また、家庭学習につなげられているか。 | ①第３小題材「ステップ３生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」およびその「活動　深めよう」では、**学習内容を生活に結びつける方法例**を具体的に示しています。②生活の中での実践活動と実践結果をまとめるためのワークシートをQRコンテンツで用意しています。③**生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス！」として設定**しています。児童の生活の中から課題を見つけられるよう促し、家庭学習へとつなげていきます。 | ①p.19、26、34、42、52、61、 64、78、91、100、110ほか②p.19、26、52、64、83ほか③p.65-67、121、134 |
| 問題解決的な過程を重視した学習の充実を図っているか。 | ①第３小題材「ステップ３生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」およびその「活動　深めよう」では、**学習内容を生活に結びつけ、学習の中で、他者との交流を図り、日常生活の問題を見いだし、解決できる**ようにしています。②生活の課題と実践を「生活を変えるチャンス！」として設定し、学んだ知識・技能や育成された思考力・判断力・表現力等を活用し、生活の課題を小題材で学んだ３ステップを生かし、解決していく内容になっています。 | ①p.19、26、34、42、52、61、 64、78、91、100、110ほか②p.65-67、121、134 |
| 家庭科学習のガイダンスを行うための適切な配慮がなされているか。 | 教科書表紙と目次等を使って、ガイダンスが行えるよう構成しています。①成長のふり返りとこれからの学習の道筋では、**４年生までの学習との関連を示す**とともに、これからどのようなことを学び、何を目指して学んでいくかが分かるようになっています。②目次は、**２年間の指導計画が見通せる**ような示し方をしています。上段が５年生、下段が６年生の学習の流れを示し、**ストーリー性のある指導計画**を提示しています。③家庭科の見方・考え方（家庭科の窓）および、家庭科の学習方法を示し、３ステップでの問題解決的な学習が展開できるよう配慮しています。④学習したことを自己評価し、**自己の成長を感じられるように「成長の記録」「５年生のまとめ」「２年間のまとめ」で学習のふり返り**の場面を設けています。⑤表紙から裏表紙につながるイラストは、**さまざまな世代の人々と、児童が交流する様子**が描かれています。さらに、学習する内容も盛り込まれ、家庭科ではどんなことができるようになるのか、期待がふくらむ表紙となっています。 | ①②表2-p.2③p.3-5、教科書全体④p.6-7、79、135⑤表紙、裏表紙 |
| 実践的な活動を家庭や地域で行うことができるよう配慮されているか。 | ①家族や家庭生活は、児童の生活の基盤となるという考えから、すべての大題材で家族や家庭生活と結びつくように配慮しています。学習した知識や技能をもとに、生活の中で生かす視点を入れたり、家族のための製作を示唆する内容を示したりしています。②第１５大題材「あなたは家庭や地域の宝物」では、家庭や地域での自分の役割を自覚し、自分の仕事ができるよう配慮しています。 | ①教科書全体②p.128-133 |